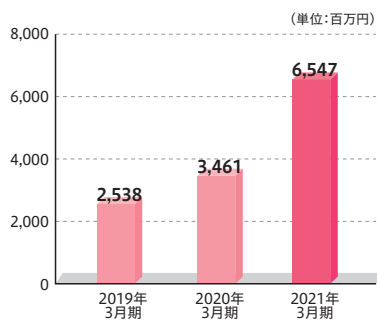


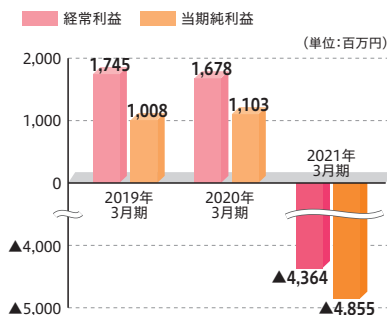
コア業務純益の状況

銀行の本業の収益力を表すコア業務純益は、資金利益や手数料収入等の役務取引等利益が増加したことに加えて、経費が減少したことなどから、前年同期比30億85百万円増加の65億47百万円となりました。



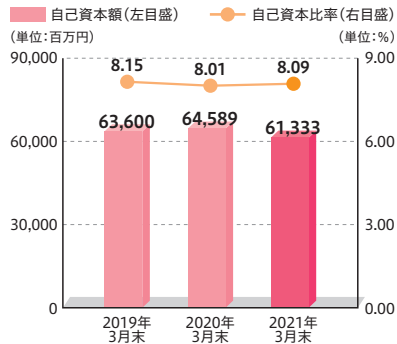
経常利益・当期純利益の状況

経常利益は、有価証券ポートフォリオの見直しに伴い、債券償還損失を計上したことに加え、与信関係費用が増加したこと等から、前年同期比60億42百万円減少の△43億64百万円、当期純利益は前年同期比59億59百万円減少し、△48億55百万円となりました。



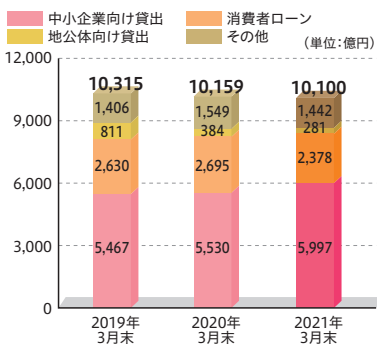
自己資本比率の状況

単体の自己資本比率は、じもとホールディングスとSBIホールディングスの資本業務提携に伴って30億円の資本調達を実施したことなどから、2020年3月末比0.08ポイント上昇の8.09%となりました。



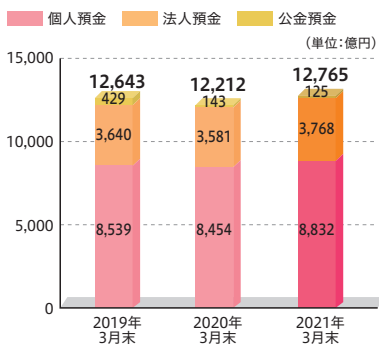
貸出金の状況

貸出金残高は、中小企業向け貸出が増加したものの、消費者ローンが減少したことなどから、2020年3月末比58億96百万円減少の1兆100億25百万円となりました。



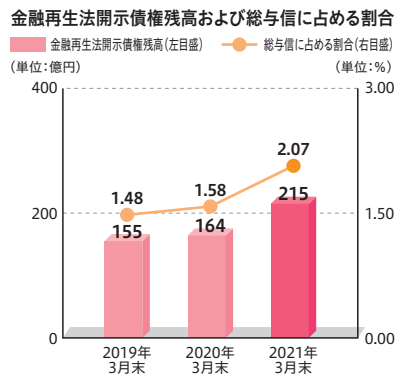
預金(譲渡性預金を含む)の状況

預金残高は、新型コロナウイルス感染症に伴う特別定額給付金等によって2020年3月末比552億83百万円増加の1兆2,765億58百万円となりました。



金融再生法開示債権の状況

金融再生法開示債権の残高は、取引先の業績悪化に伴う債務者区分の変更等から、2020年3月末比50億59百万円増加の215億41百万円となりました。



用語解説

■ コア業務純益 「業務純益」から「一般貸倒引当金繰入額」と「国債等債券損益」を除いたものです。分かりやすく言えば、資金運用収益と調達費用の差額である資金運用収支と、送金手数料等の手数料収支から、営業経費を引いた、いわゆる銀行本業部分の収支のことを指します。